

－ 医学系研究に関する情報及びご協力をお願い －

当院では、以下の医学系研究を実施しております。この研究は、検案・解剖業務の過程で得られた情報をまとめることによって行います。この研究は、当院の倫理委員会の承認を得ており、文部科学省及び厚生労働省が策定した「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り実施されます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

〔研究課題名〕

東京都 23 区内における終戦後および現代における心中、無理心中の発生状況についての研究

〔研究実施機関〕

東京都監察医務院、北里大学医学部法医学

〔研究代表者〕

北里大学医学部法医学 佐藤文子

〔研究の目的・方法〕

【目的】戦後の自殺者が急増した時期、1953-1960 年（戦後復興期）、1983-1985 年（経済安定成長期）、2003-2005 年（戦後最大の自殺者増加時期）での心中による自殺、無理心中例を調査し、各時期での心中による自殺、無理心中の発生率、好発年齢、心中相手等の違いを明らかにすることを目的とします（2003-2005 年については心中による自殺例のみ）。また、近年見られる育児ノイローゼ、介護問題による無理心中についての発生状況を調査し、社会に報告することも目的としています。心中自殺、無理心中事件は、残された遺族、社会に大変な衝撃、悲しみをもたらします。発生率、心中相手、動機などを調査し、諸外国、日本国内の各時代を比較、心中の動向を明らかにすることでその発生を減らすことができると考えています。

【方法】東京都監察医務院に保管されている 1953-1956 年、1983-1985 年、2003-2005 年の死体検案調書から、自殺、他殺例を検索し、その中から心中自殺例、無理心中例を抽出します（2003-2005 年については心中による自殺例のみ）。調査項目は心中自殺例では、年齢、性別、相手との関係、死因、動機、遺書の有無、死亡場所、無理心中例では、被害者、被疑者の年齢、性別、両者の関係、死因、動機、遺書の有無、死亡場所です。

〔研究の対象者〕

1953-1956 年（昭和 29-31 年）、1983-1985 年（昭和 58-60 年）、2003-2005 年（平成 15-17 年）の期間に、心中自殺、無理心中により死亡され、検案・解剖をうけられた方（2003-2005 年は心中による自殺例のみ）。

〔個人情報の取扱い〕

利用する情報からは、名前や住所など個人を特定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる情報等は利用しません。

〔研究協力の任意性と撤回の自由について〕

本研究へのご協力については、ご遺族の意思を尊重いたします。研究内容に関して不明な点がある場合や情報の利用に同意されない場合には、以下にご連絡ください。

〔問い合わせ先〕

〒252-0374 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1 北里大学医学部法医学

担当者：佐藤文子

電話 042-778-9026、e-mail: fumiko-s@med.kitasato-u.ac.jp